

令和4年度 聖園学園短期大学2年生からの『母校への手紙』の紹介

1. 聖園短大に入ってよかったこと

- 保育科のみの単科大学のため、同じ目標を、夢を持った仲間が周りに大勢います。そのため、授業中はもちろんのこと、休み時間や放課後の時間にも子どもや保育に関する話が自然とでき、学びや気づきに繋がる場面がたくさんあります。
- 先輩や先生方がとても優しく、温かい雰囲気です。私たちの悩みや相談を親身になって聞いてくれます。
- 保育者になるために必要な知識を詳しく学ぶことができます。丁寧に、大事なことは時間をかけて教えてくれます。授業でディスカッションをしたり、グループで協力したりする活動が多いので、たくさんの人と関わることができます。個性を大事にしてくれる先生方もいるので自分らしく過ごすことができます。
- 同じ目標を持った仲間と一緒に日々の講義、実習に取り組んでいくことで、向上心が生まれ、保育者としての意識を高めることができます。MISONO パフォーマンスや聖園祭など学年全体が一体となって取り組む行事が多く、周囲との絆を深めていくことができる点も魅力です。
- 短大の敷地内に幼稚園、保育園、天使園が併設されているため、普段から子どもたちを身近に感じながら保育を学ぶことができます。外遊びを楽しんでいる子どもたちを見るととても微笑ましく、モチベーションにもなります。

2. 講義や実技、実習について

- 子どもの遊びを実際に体験する活動が多くあり、「子どもが何を楽しいと感じているのか」、「保育者はどのような援助をすればよいのか」など、保育者としての知識、技術を深く学ぶことができます。
- 座学だけでなく、体を動かしたり、歌を歌ったり、実際に遊んでみたりする活動的な授業もたくさんあって楽しく学ぶことができます。赤ちゃん人形を使って、おむつ交換や授乳の練習をしたのがとても勉強になりました。
- ピアノの授業は、担当の先生方が一人一人のレベルやペースに合わせて指導して下さるため、安心して授業に臨むことができます。
- 先生方が実際に保育の現場で活動している方々の動画や意見などを踏まえながら詳しく教えてくれるので、より深く理解することができます。また、グループワークや意見発表を行うことで新たな発見をすることができ、実習や実技の際に活かすことができます。
- 実習でお世話になった園では、聖園短大出身の先生がとても多く、短大の話がたくさんしたり、保育についてのアドバイスなどをたくさんいただいたりしました。

- 実習は何回目でも緊張し不安になりますが、普段の授業の学びや、先生方からのサポートがあるため一人で悩まずに友達と一緒に乗り越えられました。

3. 学生生活について(学生会活動、クラブ活動、アルバイトや困ったこと等含む)

- 学生会活動やクラブ活動は、新型コロナの影響で、思うように活動できませんでしたが、様々な委員会、クラブがあるため、自分の興味に合わせて選択することができます。
- 土日は講義が無いので、比較的、アルバイトを行いやすいと思います。保育園や幼稚園でアルバイトやボランティアをしている学生も多くいます。求人は掲示板に掲載されるので自分にあったアルバイトやボランティアを見つけられると思います。
- 冬から一人暮らしを始めたこととともなって、2年生になってからアルバイトを始めました。シフト希望制の職場のため、無理なく勉強と両立できています。電車通学の時は、朝5時起きて、6時台の電車に乗り、家に帰るのが19時頃でしたが、一人暮らしを始めてから余裕のある生活を送れるようになり、ピアノの練習や勉強に時間があてられるようになりました。
- クラスの人たちや友達と協力し合い、日々勉学に励みながら毎日充実した学生生活を送ることができています。コロナウイルスの影響で、行事ができなくなることも多かったですが、MISONO パフォーマンスではクラスの人たちと協力して、ひとつのものを作り上げるすばらしさと達成感を感じました。

4. 今頑張っていることや将来の夢などについて

- 今頑張っていることは、「苦手なことに挑戦すること」です。私はピアノやパソコン、けん玉などが苦手なので、克服するために少しずつ頑張っています。将来の夢は、一人一人の子どもの気持ちに寄り添うことができる保育者になることです。まだまだ、保育者としての知識、技術が足りないため、目の前の課題を一つずつ乗り越え、将来の目標のために自分から行動していきたいと思います。
- 将来は地元で保育者として、これからの社会を担っていく子どもたちをサポートしていきたいと考えています。そのためにも、授業内容は勿論、子どもと関わる機会を増やしたり、実技のレベルアップに力を入れていったりしたいと思っています。
- 今年は実習以外のボランティア活動を試みようと思っています。去年は、コロナの影響で地元の園になかなか受け入れてもらうことができなかったので、今年は自分から声をかけてなるべく地元の園での体験を重ねたいと思っています。
- 自分自身の遊びのバリエーションを増やすことに力を入れて取り組んでいます。手遊びの種類や提案できる遊びのバリエーションを増やすことで、自分の引き出しを増やすということを意識して頑張っています。

5. 聖園学園短期大学について後輩へお勧めのポイント

- 聖園短大は、先生方がとても優しく、どのような相談でも親身になって丁寧に話を聞いてくれます。また、入学後には、CCE研修という行事があり、短大生活になれるように様々なレクリエーションを行います。私はこの研修のおかげで、より早く短大生活になじむことができました。
- 聖園短大のおすすめポイントは、敷地内に保育園や幼稚園などがあることです。毎日、明るく元気な子どもたちの存在を身近に感じることができます。また、先生方がとても優しく、面白いです。授業についてや、実習、就職についてなどなんでも快く相談に乗ってくださり、親身になって応えてくださいます。小学校や幼稚園に勤めていた先生もいて、実際にあった子どもに関する事例を取り上げて考えたりアドバイスをいただいたりできるところもいいと思いました。
- ラウンジや談話室など、私たちがゆっくりと休んだり、作業したりできるスペースが多く、全館冷暖房完備(体育館も!)で、無料で使用できる充電スポットやWi-Fi環境も整っています。構内の雰囲気も落ち着きがあって快適な学校生活を送ることができています。

6. 入学試験に向けてのアドバイス

【指定校推薦型選抜】

- 先生方とたくさん面接をしておく、どのような質問がきても焦らずに答えることができると思います。笑顔を大切に頑張ってください!
- 口頭試問や一般常識や、気持ちを考える質問が出されました。落ち着いて回答すれば大丈夫だと思います。面接では、自分の考えをノートにまとめて、どんな質問にも答えられるにするとよいと思います。
- 面接では、志望動機や保育士になろうと思ったきっかけを恐らく話すと思いますが、何を話すにしても、「具体的に」話すことが大切だと思います。あまり長くなるのはよくないですが、大事なキーワードが何かを考えて文章を作ることが大事だと思います。

【公募推薦型選抜】

- 面接では明るくハキハキと話すことが大切です。言葉に詰まってしまっても、焦らずもう一度落ち着いて話すとうよいと思います。
- 姿勢や普段の言葉遣いは、日頃のくせが出やすく、人柄が一番現れる部分だと思うので、周りに注意されたことを改善する意識を持つことが大切だと思います。作文や面接は、練習どおりに落ち着いて、変に自分を作ったりせず、丁寧にこなせば乗り越えられると思います。

【一般選抜】

- 国語のテストがあります。読解問題と漢字、敬語の使い方がでるので高校の時のテストなど高校の振り返りのように復習していれば安心。面接は、アドミッション・ポリシーについて聞かれるので、自分の考えを用意しているといいと思います。部活のことや高校生活についてなど答えやすい質問が多いです。